Qサロンを再開する場合、どんなことに注意すればいいの？
～感染症予防対策～

①できるだけ広い会場で開催して、参加者数が会場の定員の半分程度になるようにしましょう。

②サロン当日の朝に体温を計測し、発熱（37℃以上）や風邪などの症状がある場合は、参加を控えましょう。

③マスクを持参し、着用しましょう。

④開始前に全員の体温や体調を確認しましょう。（体調管理シートなどを作成し、管理する方法もあります。）発熱等が認められる場合には、参加を控えましょう。

⑤正面を向いての会話はできるだけ避け、十分な距離（約 2m 以上）を保ちましょう。
※例えば席の配置を横並びにしてみましょう。

人との間隔を空ける。

⑥定期的に手洗い（自分のハンカチで手を拭きましょう）、手指のアルコール消毒をしましょう。また複数の人の手が触れる場所や物（手すり、ドアノブ、テーブル、椅子、備品など）は、定期的にアルコール消毒しましょう。

⑦飲食をされる場合は、下記について十分注意しましょう。
（飲食をすることで感染のリスクが高まります。）
- 飲み物は各自で持参していただくようにしましょう。
- 料理は個別に配膳し、茶菓は個別包装されたものにしましょう。
- 手や口が触れるようなもの（食器やコップ、箸など）は使い捨てのものにしたり、洗剤でしっかりと洗いしましょう。

⑧室内で開催する場合は、30 分に 1 回程度の換気を数分間行いましょう。

こまめに換気をする

⑨活動終了時の体調確認と手洗い・手指のアルコール消毒をし、複数の人の手が触れた場所や物（手すり、ドアノブ、テーブル、椅子、備品など）にアルコール消毒しましょう。

ワンステップ！

○参加できなかった方へ次回の開催日などの連絡も兼ねて電話をしてみましょう。

【参考】厚生労働省：新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮して通いの場等の取組を実施するための留意事項について

＼ 地域に笑顔と元気を！／

日吉町生畑「ようきはったカフェ」の取り組み

青々と茂る草木が眩しい 6 月 6 日（土）、日吉町生畑では、ふれあい・いきいきサロン「ようきはったカフェ」が開催されました。室内で集まることは避け、ベニバナヤマシャクヤクの群生地を目指して山を登りました。久しぶりに顔を合わせた方も多く、会話を楽しみながら歩かれていました。

さらにこの日は、地域に笑顔と元気を届けたいと、農家民宿「めぐみ亭」とコラボし、郷土食である朴葉ご飯が生畑区内の各戸に配られました。

以前の様に集まることが難しい状況の中で、新しいサロンの形が生まれることに地域の力を感じました。

サロン情報

サロン名：ようきはったカフェ
活動地域：日吉町生畑
開催頻度：月１回
特　　徴：場所を固定せずに、会議所や個人宅など様々な場所で開催。のぼり旗が目印です。

ご相談ください(^o^)/

一見何気ない集いの場に見えて、実は住民 1 人ひとりにとって大きな意味をサロンは持っています。わたしたち、社協職員はサロン活動をしてくださっている皆さまに寄り添い、応援します。

何か困った事があったり、運営に悩んだりした時には、お気軽にわたしたちにご相談ください。特効薬のような対応は出来ないかもしれませんが、一緒に悩み考え、それぞれの地域に最適な方法を一緒に見つけ出していきましょう(^^)

～ふれあい・いきいきサロン活動特例助成金交付～

4月～6月に、サロン活動の自粛により、開催延期や中止の連絡を兼ねた安否確認などの見守り活動をされたサロンに対し助成を行います。
今回の助成額は登録人数×50円となります。
詳しくはサロン代表者さま宛にご案内させていただいた要綱をご確認ください。

特例助成は6月までの期間限定になりますが、皆様からのご相談には随時対応させていただきますので、どうぞお気軽にご相談ください。

このおたよりを通して、皆様とわたしたちが、広い南丹市内のサロンどうしが同じSalon mate（サロン仲間）として、少しでも繋がれることを願っております。

編集後記

はじめまして。本所　地域福祉コーディネーター堀田です。今日は、私の自己紹介に少しお付き合いください。

私は大阪府出身です。大学生の時に、美山町の雪かきボランティアに来たことがきっかけで、それ以外には縁もゆかりもない南丹市に一人飛び込んできました。その後、結婚出産を経て、自然豊かな中、地域の皆さまに優しく見守られながら、子育てを楽しんでいます。

私の出身地は、マンションだらけで、隣の人のこともわからないことが当たり前です。そんなところからきた私には、南丹市はとても豊かな人付き合いがたくさんある、魅力たっぷりなところです。野菜が獲れたら、野菜を作れない方のお宅へ持って行く、草刈りが出来なくなった人のところをついでに手伝う、会えば井戸端会議が開催される、区の行事は最優先、隣近所のことはなんとなくわかる等、みなさんが当たり前にしておられる事は、本当はとても難しいことです。南丹市の田舎ならではの素敵な文化を、今後私がおばあちゃんになった時にも続けていけるように、子ども達にもそれを繋げていけるように、みなさんと一緒に地域福祉の推進に取り組んでいきたいと思っています。

今後とも、どうぞよろしくお願いします。

発行：南丹市社会福祉協議会　地域福祉課　　問い合わせ先：0771-72-3220

おたよりに関するご意見ご要望がありましたら、お気軽にお電話ください。

Hello!!　Salon mate

～vol.1～

こんにちは！

サロンにご協力いただいている皆さま、いつもありがとうございます。

コロナの影響で、いつも通りのサロンが開催できなかったり、今後の開催時期や対策等で頭を悩まされているのではないでしょうか？

そこで、コロナに関する情報も含めた色々な情報をお伝えすることで、皆さまをサポートしたいと考え、「Hello!!　Salon mate」を発行することとなりました。今後は、各サロンを取材し、サロンで使える楽しい遊びやゲーム、また各町の良い取組みや助成金情報などもお知らせする予定です。

「ふれあい・いきいきサロン」とは？

☆誰もが気軽に参加できる地域の交流の場☆

誰もが、気軽に通え、顔見知りの知人とおしゃべりしたり、思い思いの時間を過ごしてまた自宅へ帰っていく。誰かと話しができる喜びや誰かとつながっているという安心感。時には誰かを励ましたり、励まされたり。たとえたった月1の通いの場であったとしても、そんな人間らしい“温かさ”をじんわりゆっくりと感じられるサロンは自分の「居場所」としての安心感がただよう場所です。

サロン活動とは、「サロン」という既存の枠に当てはめた活動をつくっていくことではなく、その地域に住む住民の“想い”によって形作られ、また、支えられているものであると言えます。住民の方々が日々の生活の中で得た気付きや想いによって、サロンはより地域生活に根差した形へと変化し、成長していくものなのです。また、サロンの形は違っても、サロンには住民の方々がお互いに見せ合う「笑顔」や「会話」によって生まれる”あたたかさ”が共通してあるように感じます。

【参考】京都の福祉（2014年3月号）